

最後に皆さんにお願いがあります。私事ではありますが、昨年の今頃、胃がんの告知を受け、大変落ち込んでおりました。その後2/3の摘出手術を行い、お蔭様で一年たたないうちに、食事も大体食べることができ、好きなゴルフにも行っており、これからはがんばっていきたくと思っています。このように元気で広報の一翼を担う事に感謝しております。早期発見が大変大事なので、年に一回の検診をぜひ受けていただきたいと思います。これも広報からの大事なお願いです。



2590地区米山奨学委員会は、米山奨学生に良好な勉学環境を提供し、ロータリーと米山奨学事業の理念を伝えるべく地区内奨学生と世話クラブ・カウンセラーへの支援を行い、ロータリーと米山奨学生の交流を促進し、お互いの文化を尊重し伝え合うことで、米山奨学生が国際間の架け橋となってロータリーの理想とする相互理解と友愛の実現に寄与していきます。地区内ロータリークラブと米山奨学生をつなぐ窓口として、そしてロータリアンの米山奨学事業への理解と協力を求めるよう様々な寄付増進のための広報活動を実施し、よりよい奨学事業の実現のため、地区内のロータリアンの意見を反映するよう努力いたします。

<米山委員長会議の報告>

鈴木委員長

地区米山奨学委員会の方針を報告いたします。米山奨学会は、日本のロータリークラブが実行している独自の奨学事業であり、全地区共同事業として運営され、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解の実践に努め、国際親善と交流を深めることを目的に、日本で勉強している私費留学生の受入れ、将来日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する優秀な姿勢が求められます。

ロータリー米山奨学生は、奨学金を受給することで安心して勉学に励むと共に、ロータリアンとの交流を通じて奉仕の心を知り、修了後は世界平和の創造と維持に貢献する人物となることを期待されています。米山奨学生は、学業優秀だけでなく、異文化の理解や地域交流などへの積極的な姿勢が求められます。

